

平成 28 年度第 4 回宇都宮大学経営協議会議事要録

日 時 平成 28 年 10 月 26 日 (水) 10 時 00 分～12 時 10 分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 石田, 飯村, 観堂, 北村, 五家, 須賀, 角, 萩原, 築,
藤井, 茅野, 池田, 久保の各委員
堀監事, 夏秋副学長, 松金学長特別補佐,
田巻国際学部長, 伊東教育学部長, 阿山工学研究科長

議事に先立ち, 平成 28 年度第 2 回及び第 3 回宇都宮大学経営協議会議事要録 (案) を確認し, 原案のとおり承認した。

[議 題]

1. 宇都宮大学基金【新】の創設について 資料 1

藤井理事から, 資料 1 に基づき, 宇都宮大学基金【新】の創設について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

(主な意見等)

- ・現行の基金を拡充するということが, 現行の基金の支援内容について伺いたい。
(本学: 今までの支援実績としては, 海外研修, 留学, 附属学校の設備の改修及びラーニングコモンズの整備等である。これからは特に学生支援に力を入れていきたいと考えている。)
- ・現行の基金の募集期間, 集めた金額, 支援事業内容などについて伺いたい。
(本学: 基金の管理運営については基金管理運営委員会で審議・決定しているところであるが, 平成 20 年度に基金を創設し, 現在の残高は約 1 億 1 千万である。宣伝活動は行っているが基金の獲得はなかなか厳しい状況である。他の国立大学も同じような状況で, もっと重点的にやらなければいけないという認識の下に見直すものである。)
- ・今までの延長では寄附金は集まらない。募集の対象として卒業生にも積極的に働きかけてみてはどうか。
(本学: 過日開催された, 各学部等同窓会連絡協議会において, 同窓会幹部の方に基金の説明をさせていただき, 卒業生名簿等の情報もお借りすることができたので, 今後, 積極的に働きかけていく予定である。)
- ・経済界へのアピールも必要だ。栃木県経済同友会等を通じて地域企業への働きかけも検討してはどうか。また, 学生支援については, 国の方では給付型奨学金の検討も開始されているので, 本学においても学生支援を充実させ, 優秀な学生を獲得していただきたい。
- ・待っているだけでは寄附金は集まらない。実際に足を運んで趣旨や支援内容をきちんと説明していかないと, なかなか期待どおりにはいかないと思う。
(本学: 学生支援の充実についてご指摘をいただいたところであるが, そのとおりである。具体例をひとつあげれば, グローバル化に対応した観点から, 海外の語学研修を充実させてきており, 大学全体の事業費の中で, 助成金 1 人 4 万円を国際インターンシップの経費などにあててきた。基金が充実してくれば, さらに手厚く, 基金全体として学習支援を深めていきたいと考えている。そう

いう意味では、文部科学省からの予算も削られていく中で、今まで独自予算で取り組んできたことを、基金を充実させることによって、あわせて学習支援の充実を一層進めていきたい。

また、現在、基金のこれまでの支援内容や今後の事業予定など具体的な内容をまとめたパンフレットを作成中である。）

2. 給与改定について

資料2

総務部長から、資料2に基づき、平成28年度人事院給与勧告に基づく給与法の改正に伴う本学の対応について説明があり、審議の結果、改正給与法成立後、給与規程等を改正することについて原案のとおり承認した。

(主な意見等)

- ・ボーナスについても、人事院勧告により100%決まるということか。

(本学：ボーナスについては、期末手当と勤勉手当で構成されているが、そのうちの勤勉手当については、資料の記載されている月数が標準であり、さらに成績が優秀な者には上乘せできる制度になっている。)

- ・インセンティブ作りは重要である。大学で可能なものは積極的に進めていただきたい。

(本学：教員に対しては、より客観的に評価ができるように「教員評価システム」と連動する形にしている。)

[報告事項]

1. 平成27事業年度に係る業務の実績に関する評価について

資料3-1, 3-2

藤井理事から、資料3-1, 3-2に基づき、平成27事業年度に係る業務の実績に関する評価の概要について報告があった。

2. 夏のオープンキャンパス2016の開催結果について

資料4

藤井理事から、資料4に基づき、7月18日(月・祝)に開催した、「夏のオープンキャンパス2016」の参加者数等について報告があった。

3. 秋のオープンキャンパス2016の開催について

資料5

藤井理事から、資料5に基づき、11月3日(木・祝)に開催する、「秋のオープンキャンパス2016」の概要について報告があった。

4. 平成27年度大学卒業・大学院修了者の就職等進路状況について

資料6

茅野理事から、資料6に基づき、平成27年度大学卒業・大学院修了者の就職等進路状況について報告があった。

5. 平成29年度宇都宮大学概算要求(運営費交付金等)の概要について

資料7

財務課長から、資料7に基づき、文部科学省から財務省に提出された「平成29年度宇都宮大学概算要求(運営費交付金等)」の概要について報告があった。

6. 「平成 27 事業年度財務諸表の承認」及び「第 2 期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認」について **資料 8**

財務課長から、資料 8 に基づき、「平成 27 事業年度財務諸表の承認」及び「第 2 期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る承認」について、6 月末に文部科学大臣の承認を得た旨の報告があった。

7. 財務レポート 2015 について **資料 9**

財務課長から、資料 9 に基づき、「財務レポート 2015」を公表した旨の報告があった。

8. 平成 28 年度国立大学法人宇都宮大学の年度計画における重要な財産の譲渡等に関する計画の執行について **資料 10**

財務課長から、資料 10 に基づき、年度国立大学法人宇都宮大学の年度計画における重要な財産の譲渡等に関する計画の執行について報告があった。

9. その他 **机上配付資料**

(1) 総務課長から、机上配付資料に基づき、平成 28 年度国立大学改革強化推進補助(特定支援型)「優れた若手研究者の採用拡大」の交付内定について報告があった。

机上配付資料

(2) 茅野理事から、机上配付資料に基づき、「キャリアフェスティバル」を 10 月 29 日(土)に開催する旨の報告があった。

机上配付資料

(3) 茅野理事から、机上配付資料に基づき、宇都宮市提供 産学連携講座(大学コンソーシアムとちぎオリジナル科目 宇都宮大学基盤キャリア教育科目)「起業の実際と理論」の開講について報告があった。

参考資料

学長から、参考資料に基づき、平成 28 年 6 月から 10 月における本学関係記事について紹介があった。

[意見交換]

1. 宇都宮大学の教育研究活動等への取組について **資料 11~16**

茅野理事から、宇都宮大学における教育研究活動等への取組を紹介させていただき、意見等を賜りたい旨の説明があり、①基盤教育センター長、②地域デザイン科学部長(代理:中島章典教授)、③国際学部長、④教育学部長、⑤工学研究科長、⑥農学部長の順にそれぞれ報告があった。

(主な意見等)

・「ゆうだい 21」については、栃木県と協力していただき、上質で安定した収量を確保できるよう進めていただきたい。

(本学:東北・北関東の 804 店舗のローソン「まちかど厨房」において、10 月から約 1 ヶ月間の予定で「ゆうだい 21」を使用した弁当・おにぎりを販売し好評を得ている。ローソン側としては全国展開したい意向であるが、我々の供給量の問題で実現が難しい状況である。)

- ・筑波大学の金子特命教授が日本、中国及び米国の学生の自律的学習時間の実態について調査した結果について報道されていたが、日本の大学生は家でほとんど勉強しないのが1割、週当たり5時間以下をあわせると7割に達するという。これに対し米国では週当たり5時間以下は2割弱に過ぎず、残りはそれ以上、学外で勉強しているとのことであった。また中国の場合はその中間で、米国より少ないが日本よりはるかい多いという。量の問題もあり一概には言えないが日本の学生は家であまり勉強しないようである。当然のことながら学部によって違いはあると思うが、自律的学習状況について大学も把握し、促進させることが必要ではないか。

(本学：本学ではアクティブ・ラーニングの積極的活用を推進しているが、学習への動機付けという面ではそのきっかけのひとつだと考えている。)

以 上